

オ 総合的な学習の時間の指導計画

学校教育目標

校訓「全力をつくせ」の下、知・徳・体の調和をとり、心豊かに、たくましく生きる子供の育成

総合的な学習でめざす子供

- ・地域を見つめ、自分の生き方を考える子
- ・自分の課題に積極的に取り組もうとする子

各教科との関連

- ・各教科で培った力を総合的な学習で発揮してさらにその力を伸ばす。
- ・「ふれあい読書」によって育まれた人間的なものの見方や考え方を支えとし、総合的な学習に生かす。
- ・総合的な学習で身に付けた力を、教科学習で生かす。
- <国語>適切に表現できる力
- <社会>郷土・国土の地理や歴史、社会の仕組みについての理解
- <算数>数量や図形の理解と思考力
- <理科>自然事象への関心と理解
- <音楽>音楽的な表現力
- <図工>造形的な表現力
- <家庭>生活に関する知識と技能
- <体育>健康安全への知識理解、身体的な表現力
- <道徳>よりよく生きる道徳性
- <特活>自主自立の力、実践力

総合的な学習で身につけたい力

	3・4年生	5・6年生
課題追究力 問題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてみたいことや活動してみたいことをもとにして、自分で課題を作ることができる。 ・観察活動や地域の人からの聞き取り調査ができ、自分の考えをもつことができる。 ・図書資料を利用して調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの計画や見通しをもって、自分の課題を追究することができる。 ・地域の人とのかかわりや様々な情報をもとに、自分の考えを創り、深めることができる。 ・メディアの利用や聞き取りなど、多様な手だてを用いて調べることができる。
表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ・写真や資料を使って、伝えたいことを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手を意識して自分の考えを分かりやすく表現することができる。 ・コンピュータの活用も含めて、効果的な表現方法を工夫することができる。
実践力 発信力	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを学校や地域に伝えたり、実践したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを地域の中で積極的に実践したり、発信したりすることができる。
環境について考える力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域の環境問題に主体的に関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に主体的にかかわることができる。社会に参画していこうとする。
岡崎の心	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとに愛着をもち郷土を愛し守ろうとする心を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の偉人に学び、たくましく生きる力を養う。(木村資生博士・徳川家康)

生活科との関連

- ・調べてみたいことややってみたいことを見つけることができる。
- ・家族や身近な人から聞き取りができる。
- ・図鑑を使って調べることができる。
- ・自分の思いや考えを話したり、絵や文で表現したりできる。
- ・学習したことを自分でためてみたり、生活に生かしたりできる。

学年年間活動計画

年次	テーマ	内容
3年	みんな生きて いる -ふるさと と根石-	地域を探索し、地域のものや人とのかかわる活動を通して、よりよい地域づくりを目指す。東公園の自然の観察。
4年	根石エコプロ ジェクト	地域の自然環境を見つめ、自分にできることを考え実践する。環境教育。
5年	見つめよう 根石の人ともの	地域の人やものとのかかわりを深め、人としての生き方を考える。福祉実践
6年	調べてみよう 根石の歴史	地域の歴史に目を向け、史跡を調べたり昔の話を聞いたりして、自分の生き方や地域の未来を探る。歴史探訪。
特支	友だちいっぱい	様々な体験活動を進める中で、友達とのかかわりを深める。

- ◎学年テーマに基づいて、学級テーマと年間活動計画を設定する。
- ◎環境学習プログラムを実施し環境に主体的に関わる子を育成する。「岡崎市環境学習プログラム」を参考にし、15時間の環境学習を行う

学習公開・学習への参加、参画、地域への発信

総合的な学習の時間運営計画（総合とは別に英語活動を行う）

	テーマ追究	環境プログラム	総合の計	英語活動
3年	20時間	15時間	35時間	35時間
4年	20時間	15時間	35時間	35時間
5年	55時間	15時間	70時間	
6年	55時間	15時間	70時間	

家庭・地域との連携

- 地域から学ぶ
 - ・地域の自然環境や文化財の教材化
 - ・地域の人材の活用
- 地域で学ぶ
 - ・地域での校外学習
 - ・地域で学ぶ場設定（福祉の村交流・東公園自然体験・竜東メーンロード清掃活動など）
- ゲストティーチャーの活用
 - ・継続的にかかわれる人材の活用
- 学習支援への保護者の協力体制
- 家庭・地域への発信
 - ・学校日より
 - ・学年、学級通信
 - ・ホームページ
 - ・ふれあいフェスタ

評価

- <評価規準のプロセス>
- ①身に付けたい力に基づいた年間指導計画
- ②具体的な単元設定と子供の意識を見通した展開の構想
- ③単元を通して育てたい力の評価規準の作成と評価方法と評価計画
- <評価方法>
- ・自己評価カード
- ・相互評価の場面設定
- ・教師の見取りカード
- ・ポートフォリオ（記録の蓄積）